ページ:<u>1234</u>5

## 仮想イメージをコピーする

仮想OSをコピーして、新たな仮想OSを作成します。

## 手順 -A コマンドプロンプトで、VitualBox のインストール先へ移動する

cd C:¥Program Files¥Oracle¥VirtualBox

手順 - B VBoxManage コマンドを実行し、イメージをコピーする

VBoxManage.exe clonehd コピー元イメージ コピー先イメージ

< 例 >

VBoxManage.exe clonehd "C:¥Documings¥xxx¥VirtualBox VMs¥CentOS 6.0 64¥CentOS 6.0 64.vdi" "C:¥Doettings¥xxx¥VirtualBox VMs¥CentOS 6.0 64¥CentOS 6.0 64\_2.vdi"

## 手順 -C 仮想マシンを作成する

Oracle VM VitualBox マネージャーの[新規]で、新しい仮想マシンを作成します。 このとき、仮想ハードディスクに手順-B でコピーしたイメージファイルを指定します。

💱 新規仮想マシンの作成	i 🛛 🛛 🔀
والتصحي	仮想ハードティスク
	仮想マシンで起動ディスクとして使用する仮想ハードディスクを選択します。新規ハードディスク を作成するか、ドロップダウンリストまたはファイル選択ダイアログから既存のハードディスクを選択 できます。
Σ	より高度なハードディスク設定が必要であれば、このステップをスキップし、後で仮想マシン設定 ダイアログを使用してハードディスクを割り当てることもできます。 推奨される起動ディスクのサイズは <b>8.00 GB</b> です。
	○ 新規ハードディスクの作成( <u>C</u> )
	◎ 既存のハードディスクを使用(U)
	🛕 CentOS 55 64_02.vdi (標準, アクセスできません)
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

手順 -D ネットワークアダプタを追加する

[設定]からアダプタ2にホストオンリーアダプタを設定します。

🏶 CentOS 5.5 64	9_02 - 設定 🔹 🤶 🔀
<ul> <li>● 一般</li> <li>● システム</li> <li>◎ ディスプレイ</li> <li>② ストレージ</li> <li>● オーディオ</li> <li>● ネットワーク</li> <li>③ シリアルポート</li> <li>Ø USB</li> <li>● 共有フォルダ</li> </ul>	アダフタ1       アダフタ2       アダフタ3       アダフタ4         マ       ネットワーク アダフタを有効化(E)         割り当て(A)       ホストオンリー アダプタ         名前(N)       VirtualBox Host-Only Ethernet Adapter         ●       高度(D)
	左側のリストから設定のカテゴリを選択し、設定項目をマウスオーバーして詳細な情報を参照してください。
	OK(O) キャンセル ヘルプ(H)

あとは、同じように起動するだけです。

コピー先の仮想OSのネットワークの設定(固定 IP:192.168.56.)、マシン名を変更してください。

<u>1234</u>5